大阪府三島医療圏におけるがん登録部会の活動について（第2報）

岡元 かおり[1] 松本 吉史[1] 金森 ひろ子[1] 宮﨑 順平[3] 大木 美枝[4] 齊藤 泰司[5] 福本 孝明[6]
常島 啓司[7] 中島 秀徳[8] 上田 英一郎[1] 後藤 昌弘[2] 鰐渕 昌彦[2]

1 大阪医科薬科大学病院 診療情報管理室
2 大阪医科薬科大学病院 がん医療総合センター
3 高槻赤十字病院
4 社会医療法人愛仁会高槻病院
5 医療法人仙養会 北摂総合病院
6 医療法人東和会 第一東和会病院
7 医療法人友紘会 彩都友紘会病院
8 大阪府済生会茨木病院

はじめに

大阪府三島二次医療圏(以下、圏域)ではがん登録の普及・啓発を目的に2016年より三島医療圏がん診療ネットワーク協議会のもと、がん登録部会（以下、部会）を設置し活動している。部会施設は、圏域内での院内がん登録実施設も含めた計７施設（事務局：大阪医科薬科大学病院）で活動している。

図. 大阪府二次医療圏

がん登録部会 参加 7施設

- 地域がん診療連携拠点病院
  - 大阪医科薬科大学病院
- 大阪府がん診療拠点病院（府指定）
  - 愛仁会高槻病院
  - 北摂総合病院
  - 高槻赤十字病院
  - 第一東和会病院
- 院内がん登録実施機関
  - 彩都友紘会病院
  - 大阪府済生会茨木病院

2019年6月現在

活動内容

がん登録の均てん化と精度向上を目指すべく、がん登録実務者参加型の支援活動を実施！

（1）がん登録実務者研修会を年1回開催

年別（開催方式）	内　容 外部講師による、がん登録における登録のポイント
2018年（対面形式）	・腎盂・尿管がん、膀胱がんの病期分類 ・標準登録様式の変更点
2019年（対面形式）	・大腸がんの病期分類、質問回答
2020年（ハイブリット形式）	・子宮頸部・体部・卵巣 ・標準登録様式2020年の変更点
2021年（Web形式）	・腹部の病態生理
2022年（ハイブリット形式）	・胃、肝臓、乳房の登録のポイント ・主要5部位の多重がん登録の注意点

（2）がん登録勉強会を年1回開催

2022年 ハイブリット開催

（3）院内がん登録データを用いた分析検討

年別（開催回数）	内　容
2019年（計3回）	三島医療圏における、大腸がんの現状分析についての検討
2020年（計3回）	生存率算出についての検討
2021年（計5回）	三島医療圏における、コロナ禍のがん医療の影響についての検討
2022年（計5回）	三島医療圏における希少がんについて

2020年 生存率算出の検討会

2021年 コロナ禍のがん医療の影響についての検討会

2022年 希少がんについての検討会

検討したのち、各施設より発表！

情報の活用

2019-2020年診断　コロナ禍におけるがん患者受療状況　集計

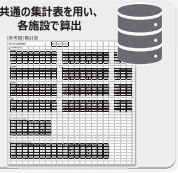
【 部会では 】

- 院内がん登録2019-2020年全国集計のデータをそれぞれの施設ごとに集計し、分析項目ごとに集計を行った。
- 分析項目としては、年齢別、症例区分別、発見経緯別、部位別のがん患者数と二次医療圏別、がん種ごとのステージ別、治療法別に分類し、コロナ禍におけるがん患者の受療状況を分析した。

Contents

1. 全がん患者数、入院がん患者数、外来がん患者数
2. 全がんの手術件数、内視鏡治療件数、放射線治療件数、化学療法件数、その他の治療件数
3. 年齢：平均年齢、世代別割合（0=14歳,15=39歳,40=64歳,65=74歳,75=84歳,85歳以上）
4. 性別：男女割合
5. 症例区分：自施設診断・自施設初回治療開始、他施設診断・自施設初回治療開始の割合
6. 発見経緯別：がん検診・健診等,他疾患経過観察中,剖検発見,その他
7. 部位別（院内がん登録の分類）のがん患者数と二次医療圏
8. メジャーがん（胃・大腸・肺・肝・乳・子宮頸・前立腺）のステージ別患者数、治療法別患者数
9. 新型コロナウイルス患者入院数

共通の集計表を用い、各施設で算出

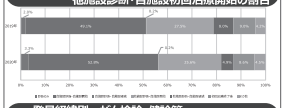


赤字の項目を下記に抜粋

3 年齢：平均年齢、世代別割合（0=14歳,15=39歳,40=64歳,65=74歳,75=84歳,85歳以上）

世代別患者割合および性別/世代別患者割合では大きな変化は見られなかった。

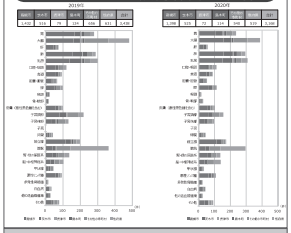
5 症例区分：自施設診断・自施設初回治療開始、他施設診断・自施設初回治療開始の割合



6 発見経緯別：がん検診・健診等,他疾患経過観察中,剖検発見,その他

自施設で初回治療を開始する症例が多く見られ、コロナ禍以前と比べ、症状による受診が減少していた。

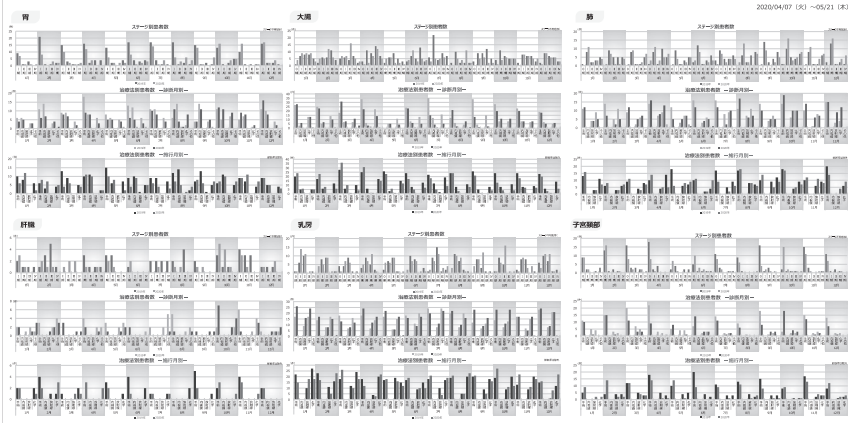
7 部位別（院内がん登録の分類）のがん患者数と二次医療圏



患者数はどの部位も全体的に減少しているが、圏域外と他府県からの受診減が目立った。

8 メジャーがん（胃・大腸・肺・肝・乳・子宮頸・前立腺）のステージ別患者数、治療法別患者数

（大阪府）緊急事態宣言の発令期間
2020/04/07（天）～05/21（木）



患者数の減少が見られた胃のステージ別では、Ⅰ期で2020年４月の緊急事態宣言後から2021年9月まで減少傾向で、外科手術および内視鏡治療についても同様であった。

今後の課題

- 今回の分析はコロナ禍初期の情報であったため、継続して分析する必要があると考える。
- 分析を行ったものは、臨床の現場や、経営層へのフォードバックができるよう検討を重ねていくことが重要と考える。

日本がん登録協議会　第32回学術集会　COI開示　筆頭演者：岡元　かおり　当演題発表に関し、開示すべきCOIはありません

Copyright (C) Osaka Medical and Pharmaceutical University Hospital All Rights Reserved.